



2016年5月25日

各 位

会 社 名	キョーリン製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 社 長 穂 川 稔 (コード番号 4569 東証第 1 部)
問 合 せ 先	社 長 室 コーポレートコミュニケーション部長 宮木 修次
電 話	03-3525-4707

アレルギー性疾患治療薬「デスロラタジン」に関する 独占販売権の取得

キョーリン製薬ホールディングス株式会社の子会社である杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、社長：宮下三朝、以下杏林製薬）と MSD 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：トニー・アルバレス、以下 MSD）は、MSD が製造販売承認申請中のアレルギー性疾患治療薬「デスロラタジン（一般名）」の日本国内における共同販売に関する契約内容を変更し、杏林製薬が独占販売権を取得することで合意しました。

「デスロラタジン」については、杏林製薬と MSD の関連会社との間において、2014 年 11 月に日本国内における共同販売の契約を締結しましたが、このたびの合意により、製造販売承認取得・薬価収載後に杏林製薬が独占的に販売することとなります。

杏林製薬は、特定領域に経営資源を集中するフランチャイズ・カスタマー戦略（重点領域：呼吸器科、耳鼻科、泌尿器科）を推進しています。当製品の独占販売権の取得により、重点領域である呼吸器・耳鼻科領域での製品ラインナップ拡充と、同領域でのさらなるプレゼンス向上を図ります。

MSD は、引き続き、呼吸器・アレルギー領域を含む幅広い疾患領域で最新のサイエンスに基づく革新的な医薬品の研究開発を推進するとともに、同領域の既存製品の最大化を図っていきます。また、ビジネス上の重点領域である糖尿病を中心としたプライマリーケア、がん、ワクチン、病院急性期医療に経営資源を集中することで、より一層、医療従事者の皆さんや患者さんに貢献していきます。

なお、「デスロラタジン」は、米国や欧州など世界 120 カ国以上で承認されています。日本国内では新規有効成分の第二世代ヒスタミン H1 受容体拮抗薬として「アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症）に伴うそう痒」の適応症で申請しています。

連結業績予想につきましては、現時点では修正いたしません。今後の状況により、適時・適切に開示いたします。

以上